

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校

【取組内容①】DX推進コーディネーターによる指導・支援のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につなげる、総合的な学習の時間を中心とした教育課程の編成と実施

概要

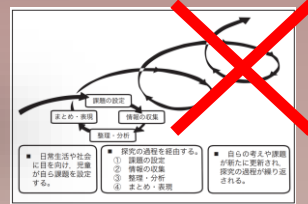
DX推進コーディネーターによる**継続的指導・支援**のもと、児童にとって「**魅力あふれるミッション**」を設定し、共通体験による学びから個別最適かつ協働的な学びに発展していく流れを意識した、教科横断的な指導を実施。

ねらい

テーマや取組が形骸化し、児童の探究への意欲が喚起されない総合的な学習の時間を打破すべく、DX推進コーディネーターによる**継続的指導・支援**のもと、単元及び授業の改善を行う。

これにより児童にとって「**魅力あふれるミッション**」を完遂できる学びに昇華することをねらう。

児童の探究への意欲が喚起されない



「従前どおり」のテーマや取組をなぞる、形骸化された学習

Before

After

DX推進コーディネーターの伴走支援のもと、指導計画について十分に検討



成果

年間指導計画を一から見直したことにより、児童の意欲が飛躍的に向上した。企業によるプログラミング・ドローン体験、動画教材を活用したPBL実践等をおし、ICTを活用した「**各自の学び**」と「**他者の学び**」を共有する機会を繰り返し設定できた。

課題・展望

各学年で身に付けるべき資質・能力、学校教育目標や目指す児童像との関連をより明確にしていくことが課題である。
学びの成果を指定校の中学生と融合し合い、保護者・地域に展開していく試みもおこなったので、**今後はオンライン実施も含めた横展開の在り方について、市や教育委員会と連携しながら進めていく。**



Point!

指導計画には、教科・領域との関連だけでなく、育成すべき**情報活用能力**について明記する。

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○住みやすい、さかえシティをデザインしよう。 ・自分たちが住んでいる地域で困ることや願いを調査。 ・さかえ小学校区に住んでいる方へのインタビュー。 ・困りごとや願いの集約。 ・住みやすいさかえシティにするためのアイデアを企画・提案。 ・プレゼンにまとめる。 ・個、ペア、グループごとに発表。 ・幸手市役所に提案。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語「伝統工芸のよさを伝えよう」 ・伝統工芸の調べ学習。 ○社会「特色のある伝統文化」 ・伝統文化を調べる。 ○算数「四角形の持ちようを調べよう」 ・様々な四角形の撮影。共有。 ○理科「ものの体積と温度」 ・実験の予想。 ○体育「キャッチボール」 ・動きの撮影。作成を立てる。 ○総合「共に生きる」 ・福祉の学習を通して、自分たちの生活に生かすことができる提案。 | <ul style="list-style-type: none"> ○D3 ・情報を共有するときの留意点。 ○D6 ・調べ学習や撮影する際の著作物等の活用や扱い方。 ○D9 ・インターネットの安全性及び電子の予防法。 |
|---|---|---|

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校

【取組内容②】幸手市教育委員会が独自制作した動画をはじめとする、各種教材の効果的な活用

概要

幸手市教育委員会で制作し、YouTube上に公開されているデジタル・シティズンシップについて学ぶための動画教材をはじめ、各種授業等の実施に際して効果的な教材を厳選して活用。

ねらい

以前と比べ、教育現場での動画教材の活用は進んできている。LMSやSNSの普及で、その流れはますます顕著になるだろう。

児童が動画教材も活用して、人生100年時代を生きる優れた学び手に成長することを目指し、各種教材を活用した学びを創出することをねらう。

Before



選択して教材化する難しさ

After

DX推進コーディネーターが、効果的な教材を厳選して紹介



教育委員会YouTubeチャンネルにアップ



市教委制作動画は、1つ約10分で視聴可能

成果

DX推進コーディネーターの模範授業も参考にしながら、各教員が授業等で動画教材を当たり前使うようになった。

好感触であった教材は、Teamsを使い他の教員にも即時共有されている。

児童も、与えられた教材で学ぶのではなく、自身の学びのために動画を検索・選択するようになった。

課題・展望

紹介を受けたものだけでなく、授業等のねらいに合った動画等を、本校教員だけで探し、教材化できるよう、日々のアンテナを高めていきたい。

市教委と連携し、効果的教材を一元管理できるプラットフォームの構築、児童自身が教材を発信する等のPBL的發展も検討していきたい。



Point!

動画の紹介だけでなく、授業等での活用について、DX推進コーディネーターに模範授業を実施していただく。



Teamsを活用し、効果的な教材は即時共有する。

福祉分野の課題解決のヒント

エキマトベ (ekimatopeia.jp)



エキマトベ
エキマトベは、駅のアナウンスや電車の音といった環境音を、文字や手話、オノマトペとして視覚的に表現する装置です。
ekimatopeia.jp

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校

【取組内容③】端末の持ち帰りにより家庭でも利用できる、児童の日常的な心の変化を捉える心の健康観察アプリの開発・活用

概要

「子供達を誰一人取り残さず、その可能性を拡大する」という信念のもと、心の変化を捉える仕組みをICT活用で構築し、**不登校児童生徒**を含めた全ての児童の**心の健康観察**を日常的に実施し、そのデータ活用のシステム化に取り組む。

ねらい

不登校対策は喫緊の課題。ICTで「心のサイン」を素早くキャッチし、そのデータを共有・活用するシステムがあれば、全ての子供の想い・願いを拾えるのでは。

子供・保護者・教員の願いを乗せた「Most likely Plan～心・学びのヨリドコロ～」の実現をねらう。

Before ▶ After



心の状態を一早く察知するシステム構築が急務

端末から心の健康観察を実施

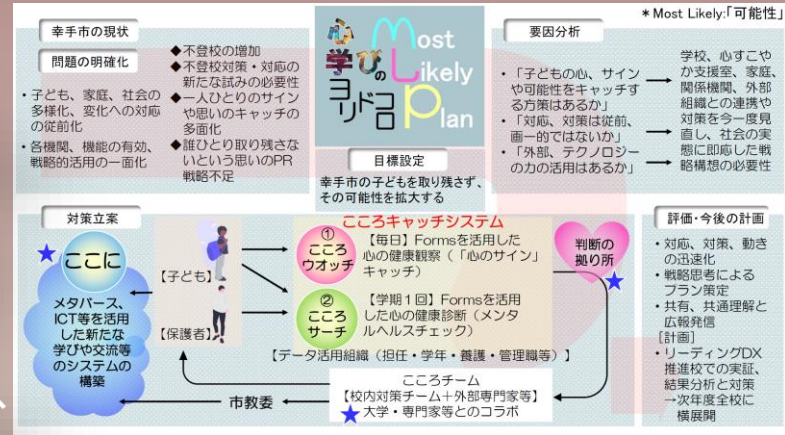
個のデータがExcelで毎日蓄積される

課題・展望

保護者等への周知・啓発を行い、全学年実施及び市内全域に普及展開していく方向である。メタバースや生成AIを活用することで、更なる可能性の拡大が見込める。次年度の大きなチャレンジである。

校内チーム、保護者、市教委、専門家が一体となり、誰一人取り残さない

変化が激しいときには色付きセルでアラート



成果

確実に子供の声は届いている。「心のサイン」をもとに校内で適切な支援を行い、子供を救うことができた。ICTだから言える・救えることがあると強く実感している。

専門家（大学講師、SE等）の協力も有効で大きな支援となっている。OneTeamで子供をサポートしていく環境が整ってきた。



Point!

システム構築に際し、専門家（大学講師、SE等）と何度もセッションを実施。

1年1組		1学期		生徒氏名1			
心の子	心の子	心の子	心の子	心の子	心の子		
番号	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
			そわそわ、ちやもや	かなしい、つらい	わくわく、ドキドキ	へとへと、ぐったり	ハッピー！絶対調:
			-5	-20	7	-8	0
6月							



リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校

【取組内容⑤】各種メディア・企業・市教育委員会・県教育委員会と連動した、実践内容の地域内外への普及

概要

連携してきた**企業**や**TV・新聞**等の各種メディアに対して積極的に**情報提供**を行うとともに、市教委や県教委の研修と**本校の実践発表**を兼ねる等の工夫を行い、実践内容を地域内外に普及させる。

ねらい

これまで実践内容を紹介する手段としては、学校だより・市広報誌・自校HPといった、極めて限定的な媒体によるものが多かった。
社会の動向に合わせて、多様な普及方法を模索し、実行に移していくことがねらいである。

成果

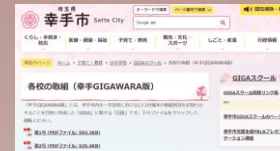
右記「After」に記載のとおり、各種メディア・企業・市及び県教育委員会と連動したことで、情報発信の質的・量的な充実が図られた。積極的発信が学校外と新たな繋がりを生むとともに、学校の協力・支援者となり、より学びを深めることに気付いた。
児童達も、自分たちの学びの様子が広く発信されることで、自己肯定感や有用感を高めることにつながった。

Before



限定した公開
実践が広がりにくい

After



市のサイトで
実践を周知・
啓発



企業HPに取組を掲載



課題・展望

県内にとどまらず、全国規模の発信が課題である。
今後は幸手市が運営する情報活用サイトはもとより、各種SNSにリーディングDXの取組の掲載を検討していく方向である。
児童が発信方法を含めて考えるPBLの更なる推進も視野に入れていきたい。



Point!

市や県の教育委員会との連携を密にし、迅速な情報提供と事業についてのこまめなミーティングを実施。



県の事業として
講演会や授業を
広く発信

オンライン開催
で問口を広く